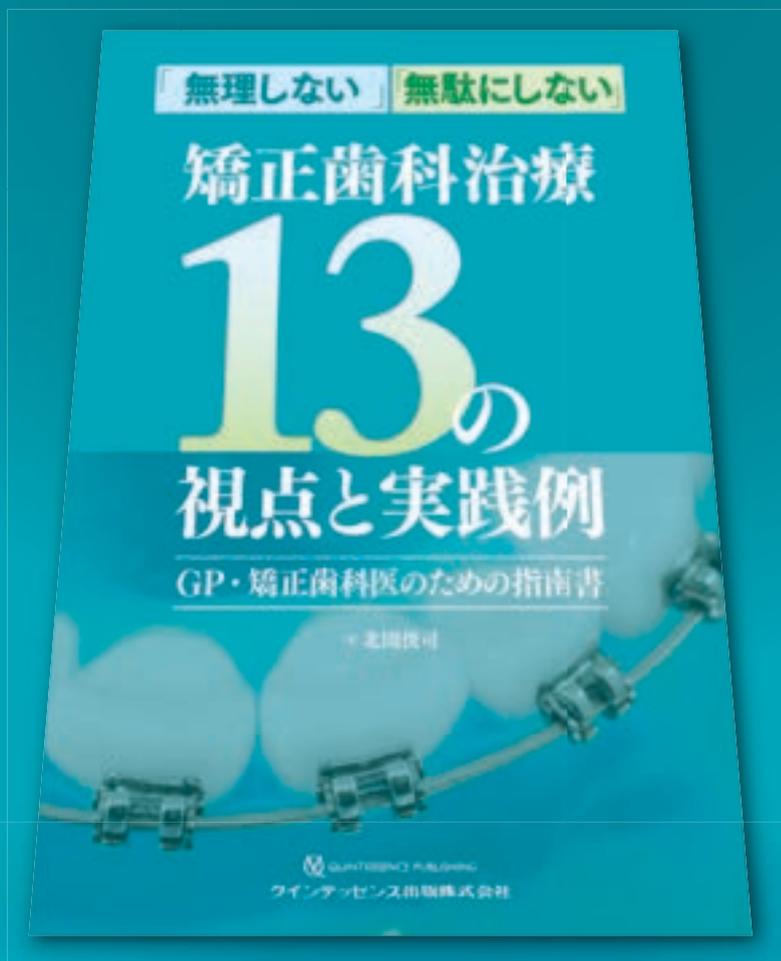


一般歯科医も矯正歯科医も 知っておくべき、 生体にやさしく長期安定する 矯正歯科治療とは

一般歯科医、歯周病専門医の視点も持ち合わせた矯正専門医が、「無駄にしない」「無理をしない」をコンセプトに、どの年齢層の患者への治療においても突き詰めすぎない、むやみに抜歯しない、しかし長期安定する点はゆるがせにしない矯正歯科治療について13の視点から解説。この視点に基づき実践した治療も豊富に供覧しています。現在の一般歯科医・矯正専門医の役割と協働について考えることができる1冊。



「無理しない」

「無駄にしない」

〔著〕北園俊司

矯正歯科治療

13の視点と実践例

GP・矯正歯科医のための指南書

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判 ●192ページ ●定価 本体10,000円(税別)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



「抜歯・非抜歯の判断はどうしたらいい?」「どんな患者さんに矯正歯科治療を勧めたらいい?」

「I期治療って必要なの?」「高齢者に矯正歯科治療はやっていいの?」

「治療手段に制限のある症例では、何を優先させればいいの?」……。

こんな矯正歯科治療で迷いがちなポイントを、一般歯科医・歯周病専門医・矯正専門医の顔をもつ著者が多角的に患者を診ることで得た視点からズバリ解説。

13にまとめた重要ポイントと実践例で一般歯科医にも矯正歯科医にも役立つコツが満載!

Contents

序章 「無理しない」「無駄にしない」矯正歯科治療のために

これからの日本で矯正歯科治療を行うために必要な視点とは

本章 13の視点を解説と実践例で理解しよう

- 視点と実践 1 抜歯・非抜歯の判断は軟組織(口唇)も合わせて慎重に考えよう
- 視点と実践 2 抜歯・非抜歯の決定は、ひとつの基準だけに頼らない
- 視点と実践 3 この患者には本当に矯正歯科治療が必要か?
- 視点と実践 4 第二次性徴期に落とし穴あり
- 視点と実践 5 I期治療の必要性はあるか?
- 視点と実践 6 II期治療の前には入念な診査を
- 視点と実践 7 成人矯正歯科治療で失活歯の扱いに悩んだら
- 視点と実践 8 治療途中で起こる下顎位後退にどう対応するか
- 視点と実践 9 矯正歯科治療と歯周疾患の問題
- 視点と実践 10 難症例は、治療中でも何度も細やかな診査をすべし
- 視点と実践 11 上下の正中線は、必ずしも一致しなくてよい
- 視点と実践 12 バーティカルストップとアンテリアガイダンスの喪失を防げ
- 視点と実践 13 高齢患者への矯正歯科治療における注意点

きりとり線

注文書

「無理しない」「無駄にしない」

矯正歯科治療13の視点と実践例 GP・矯正歯科医のための指南書

モリタ商品コード:208050780

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料を頂き、代金引換宅配便でお送り致します。